

平成27年1月27日

平成26年度
中国四国農政局事後評価技術検討会
～ 国営土地改良事業等事後評価関係（第2回）～

議 事 録

事務局

それでは、定刻となりましたので、ただ今から第2回の補助事業に係る中国四国農政局事後評価技術検討会を開催します。

土地改良管理課長が所用で不在のため、議事に入るまで私、農政調整官の宿野が進行をつとめさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まず、始めに、本技術検討会は、「原則公開」とされておりますことから、11月10日に、本日開催する旨をプレスリリースするとともに、当局ホームページにも掲載したところですが、傍聴等の申し込みはなかったことをご報告させていただきます。

それでは、開催に当たりまして、事後評価に係る国営等事業管理委員会委員長の細谷農村計画部長より挨拶申し上げます。

農村計画部長

技術検討会の委員の皆様におかれましては、本日お忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。

さて、本日は、補助事業の事後評価に係る技術検討会の2回目でございます。昨年11月25日の第1回技術検討委員会においてご指摘をいただいた点を踏まえ、評価結果書等の修正を行っていますので、それらをご確認いただき、その上で「技術検討会としての意見」のとりまとめをお願い致します。

今後のスケジュールですが、地区別評価結果書の案につきまして、本日いただきました「技術検討会としての意見」を付した上で、農政局内の決裁の後、2月下旬に本省へ報告し、さらに、省内決裁を経て、3月末日に評価結果の公表を予定しております。

本日は、限られた時間の中ですが、適正な事後評価に向け内容を充実したいと思いますので、忌憚のないご意見を賜りますようお願いして私の挨拶に替えたいと思います。

本日はよろしくお願いいたします。

事務局

～配布資料の確認、議事録の公開、進行方法等について説明～

事務局

事務局からは以上です。それでは、永井委員長に議事の進行をお願いします。

永井委員長

それでは、早速、議事次第により進めたいと思います。

では、議事次第1の「平成26年度 農業農村整備事業等 補助事業事後評価地区別結果書（案）」について、前回の技術検討会での指摘等への対応の概要について事務局より説明をお願い致します。

事務局

～資料説明～

永井委員長

それでは引き続き、地区別結果書案について各担当課から説明をお願い致します。

まずは、かんがい排水事業、畑地帯総合整備事業の2地区について、水利整備課から説明をお願いします。

水利整備課長

～資料説明～

永井委員長

説明のあった2地区の内容について、各委員より何か質問等ございますでしょうか。

中道委員

7ページ「4 事業効果の発現状況（1）②農業経営の安定」で追加記入された、稗原地区における認定農業者7人と集落営農組織3組織は、法人化までしていないのでしょうか。

水利整備課長

法人化はしていません。

永井委員長

他に、ご意見等ございますでしょうか。

引き続き、経営体育成基盤整備事業及び農道整備事業の2地区について農地整備課から説明をお願いします。

農地整備課長

～資料説明～

永井委員長

説明のあった2地区の内容について、各委員より何か質問等ございますでしょうか。

池田委員

中津井地区における機械経費の上昇の要因で、燃料価格の上昇を挙げられています。事業計画時と評価時の重油や軽油といった燃料価格を比較しているのですが、この時期の燃料価格の上昇は中津井地区に限らず全国的な事象であり、機械の大型化で経費節減を行った他地区であっても、燃料価格が経費上昇の要因となり得ると考えられますが。

宿野調整官

経費上昇の要因は、様々な要因が考えられますが、あえて要因を挙げる中で、燃料価格を挙げさせて頂きました。

池田委員

燃料価格を要因とするならば、全国的な事象で、各地で要因にもなり得るので、疑問に思いました。この地区特有の原因であるならば、ここで経費上昇の理由に挙げることに異論はありません。

宿野調整官

燃料価格の上昇が機械経費増加の要因として妥当であるかどうか、今一度確認させて頂きます。

永井委員長

他に、ご意見等ございますでしょうか。

引き続き、中山間地域総合整備事業について地域整備課から説明をお願いします。

地域整備課長

～資料説明～

永井委員長

ご意見等ございますでしょうか。

引き続き、農地防災事業について防災課から説明をお願いします。

防災課長

～資料説明～

永井委員長

説明のあった内容について、各委員より何か質問等ございますでしょうか。

永井委員長

旭東2期地区に排水機場の諸元が記載してありますが、実際の排水能力はどれぐらいでしょうか。

防災課長

合計で毎秒17.33m³です。

永井委員長

排水能力の記載がある方がわかりやすいので、検討してください。

他に、ご意見等ございますでしょうか。

最後の草地畜産基盤整備事業について、畜産課から説明をお願いします。

畜産課長

～資料説明～

永井委員長

説明のあった内容について、各委員より何か質問等ございますでしょうか。

中道委員

90ページの「6 今後の課題」で追記された文章は、新規参入者であれば家畜排せつ物の処理に堆肥センターを利用しなさいということと、既存の畜産農家であれば高齢化、規模拡大、自給飼料を生産していることで、労働力不足になっているということをもとめて書いていると思いますが、わかりにくいと思います。

宿野調整官

文章としては、高齢化等の全ての要因が、労働力不足に繋がっていくので、堆肥センターを活用しましょうという意味合いをもっています。

中道委員

詰め込みすぎてわかりにくいです。糞尿処理に手が廻らなくなるということであれば、もっとわかりやすく書いた方が良いです。

宿野調整官

担当課と相談して修正します。

中道委員

87ページの「1 社会経済情勢の変化（2）地域農業の動向」において、農家1戸当たりで表している経営面積の増減と、認定農業者数の増減の状況を「及び」でまとめていますが、両方とも「わずかに減少」ということではないのでしょうか。

畜産課

わずかに減少しているのは「戸当たり経営面積」の方で、認定農業者数は増加しています。間違いなので修正します。

井上委員

87ページ等で使われている「減少しているものの」という表現ですが、悪い中でも良い方向性があるという状況で利用すべき表現方法だと思います。

全体の農業就業人口が減少している中での高齢者の増加はむしろ当たり前のことであり、高齢化自体もあまり望ましい傾向ともいえないので、「ものの」と繋げるより「減少し、」と区切ってはどうでしょうか。

宿野調整官

ご指摘の点は、ほとんどの地区で使用している表現なので、統一して修正させていただきます。

永井委員長

他に、ご意見等ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、全体を通してご質問はありますか。

中道委員

今回、認定農業者数や法人件数を書き加えてもらいましたが、燃料価格の議論でもあったように、評価の根拠となる数値であれば、経年で明らかにした方が良いと思います。

第三者の意見でもその点には触れようと思います。

宿野調整官

ご指摘の点は、本省にも伝えます。

ただし、年次毎のデータが明らかに出来ない場合も有ります。

例えば、34ページの平成7年度の認定農業者数は記載されていません。これは市町村合併の際に、データを紛失したことによるものです。

中道委員

事情があって記載できないのは仕方ありませんが、情報を客観的に比較するのであれば、何時時点の情報かわかるようにしておいた方が良いでしょう。

中道委員

旭東2期地区について、永井委員が触れられた点でもありましたが、排水ポンプの形状だけでは、専門家でなければ排水ポンプの実際の能力がわかりません。資料の中でも都市排水機場側との相乗効果に触れているので、実際の能力も記載しておいた方が良いでしょう。

宿野調整官

他の都市排水等の機場は、本地区の排水機場と流域は重複していますが、受益地は重複していません。

永井委員長

現地はフラットに近い地形なので、これまでに設置された都市側、農水側のポンプの効果に新設のポンプの効果が加わり、豪雨の状況下でも被害が出ていないということだと思います。

宿野調整官

排水ポンプの実際の能力を、記載するかどうかについては、内部で調整をさせていただきます。

なお、その他の排水機場は、79ページの図面において、左右に横断している国道2号線の北側に設置されており、本地区の受益となっている南側の赤色部分に設置されているのは、本事業の排水機場のみです。

中道委員

流域を明らかにすることは重要だと思います。

永井委員長

他に、ご意見等ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日の技術検討会の議事を終了したいと思います。

〔「技術検討会としての意見」とりまとめ〕

永井委員長

それでは、議事を再開致します。

生産部長

飯石南地区でご指摘頂いた点について、修正案を説明させていただきます。

まず、87ページの地区別結果書における「1 社会情勢の変化（2）地域農業の動向」へのご指摘に対してですが、「65歳以上の農業就業人口は26%減少、農業就業人口に占める割合は6ポイント上昇している」という表現に改め、なお書きの方は、「農家1戸当たりの経営面積はわずかに減少、認定農業者数は増加している」という表現に改めさせていただきます。

また、90ページの「6 今後の課題等」は、また以降「新規参入者の家畜排せつ物の処理及び既存の畜産農家における家畜排せつ物処理の労働力軽減を図るため、本事業で設置した堆肥センターを一層積極的に活用する必要がある」という表現に改めさせていただきます。

永井委員長

この説明に対し、ご意見等ございますでしょうか。

それでは、議事次第の2の技術検討会の意見提示について、井上委員が読み上げて提示と致します。

〔「技術検討会としての意見」提示〕別紙

永井委員長

それでは、予定されていましたが議事が終了しましたので、議事進行を事務局にお返し致します。

事務局

永井委員長、円滑な進行大変ありがとうございました。委員の皆様には貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。本委員会の議事内容につきましては、前回と同様、事務局で取りまとめ、各委員の確認を頂いた上で、当局ホームページにより公表することとなりますので、ご了解願います。

また、本日頂戴しました意見等を盛り込んだ最終の地区別結果書につきましては、資料3のスケジュールにありますとおり、事務局の方で、整理した上で、技術検討会委員の方々にご確認頂き、局内手続きを経て、2月末を目途に本省農村振興局長あてに農政局長名で報告した後に、省内手続きを経た上で、3月末頃に、本省と当局のホームページにより公表することとしておりますので、ご了解願います。

以上をもちまして、補助事業に係る事後評価技術検討会を閉会させていただきます。

(参考)

中国四国農政局事後評価技術検討会の概要

1 日時

平成27年1月27日（火）15:00～17:10

2 場所

岡山第二合同庁舎 10階会議室B

3 出席者

【技術検討会】

池田 賀津彦	公益社団法人中国地方総合研究センター常務理事
井上 憲一	国立大学法人島根大学生物資源科学部准教授
永井 明博	国立大学法人岡山大学大学院環境生命科学研究科教授
中道 仁美	国立大学法人愛媛大学農学部准教授

【国営等事業管理委員会】

細谷 裕士	農村計画部長
西田 宏	生産部長
野村 享司	生産部生産振興課課長
掘田 仁一	生産部畜産課長
皆越 俊一	農村計画部農村振興課課長補佐（代理）
勝部 剛	農村計画部資源課長
西尾 利哉	農村計画部事業計画課長
坪田 俊郎	整備部水利整備課長
前田 和義	整備部農地整備課長
田中 繁世	整備部地域整備課長
小野寺 晃宏	整備部防災課長

【事務局等】

飛瀬 勲	生産部畜産課課長補佐
橋本 稔之	生産部畜産課草地事業係長
國塩 正明	整備部水利整備課補助事業係長
佐々木 智彦	整備部地域整備課山村振興係長
村上 直樹	整備部防災課防災係長
宿野 富義	農村計画部土地改良管理課農政調整官
光井 一真	農村計画部土地改良管理課事業効果係長

4 提出資料

- ・議事次第
- ・出席者名簿
- ・資料1 平成26年度 第1回技術検討会等における指摘と対応
- ・資料2 平成26年度 農業農村整備事業等補助事業事後評価地区別結果書（案）
- ・資料3 平成26年度 補助事業の事後評価実施スケジュール

注）中国四国農政局行政情報閲覧室（岡山第2合同庁舎4F）において閲覧できます。

平成26年度中国四国農政局事後評価技術検討会の意見

～農業農村整備事業等補助事業事後評価関係～

●全地区総括意見

各地区とも、品質や収量の維持・向上、担い手の育成、農地の利用集積、耕作放棄地の発生抑制、災害防止、農村地域の活性化など一定の事業効果の発現が認められる。

しかしながら、作物生産が計画を下回るなど目的が十分には達成出来ていない事業も見受けられる。引き続き、農業情勢の変化に対応しつつ、確実な事業効果の発現に向け、関係機関等が連携して多様な取組みを進めていくことが望まれる。

特に、中山間地域においては、過疎化・高齢化のさらなる進行が予想されるため、新規就農者を含めた担い手の育成・確保に重点的に取り組むことが望まれる。

事業評価においては以下の点に留意されたい。評価の客観性を担保するため、可能な限り数的根拠を明記されたい。また、費用対効果分析の実施に当たっては、効果と当該事業の因果関係を明確にし、過大評価とならないよう十分配慮されたい。

●各地区に対する意見

○かんがい排水事業「稗原地区」について

事業の実施により、農業生産性が向上するとともに、営農経費の節減などの効果が認められる。また、ぶどう等の高収益作物の導入・生産の拡大が図られている。

今後、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る保全管理を適切に行うことが望まれる。また、ぶどう等の高収益作物のさらなる生産拡大と併せて、販路の確保、担い手の育成・確保及び営農の組織化を進めることが望まれる。

○畑地帯総合整備事業「久比西地区」について

事業の実施により、営農経費の節減、災害防止などの効果が認められる。また、一部において、収益性が高いレモンの導入が図られている。

今後、レモンなどの高収益作物への転換や6次産業化などの取組により、担い手の育成・確保を図ることが望まれる。

○経営体育成基盤整備事業「中津井地区」について

事業の実施により、生産基盤の整備と集落営農組織等への農地集積が進み、営農経費の節減など、生産性の向上と経営の安定化などの効果が認められる。

今後、農業経営基盤をより一層強化するため、集落営農組織の法人化に向け、人材の育成・確保を推進するとともに、新規作物の導入や6次産業化の取組を進めることが望まれる。

○農道整備事業「山上・津無地区」について

事業の実施により、通作・出荷に係る交通が改善されることにより、農業生産活動が維持されているほか、地域住民の生活の利便性、安全・安心の向上及び周辺の森林が持つ多面的機能の発揮に寄与するなどの効果が認められる。

今後、6次産業化や都市と農村の交流をより一層推進するとともに、営農の組織化の取組を進めることが望まれる。

○中山間総合整備事業「白鳥南地区」について

事業の実施により、農業生産性の向上や営農経費の節減が図られ、集落営農等の組織化が進むとともに、都市と農村の交流等による農村地域の活性化などの効果が認められる。

今後、和三盆糖生産については、地元企業と連携した、なお一層の生産拡大が望まれる。また、五名地域においては、営農の組織化などの取組を進めることが望まれる。

○農地防災事業「旭東2期地区」について

事業の実施により、大雨時等における農地・農作物等の浸水被害が防止・軽減されるとともに、地域住民の生活の安全性向上に寄与していると認められる。

今後、排水機場の機能を将来に向けて十分に発揮できるよう、適切な維持管理に努めるとともに、都市排水対策との連携を強化し、災害に強い農村地域の形成に努めることが望まれる。

○草地畜産基盤整備事業「飯石南地区」について

事業の実施により、飼料作物の作付が増加し、飼料自給率が向上したこと、肉用牛及び乳用牛の飼養頭数が増加したことなどの効果が認められる。

今後、事業で整備された草地及び施設等を引き続き適切に維持管理するとともに、施設の効率的な活用に一層努めることが望まれる。

～以上～